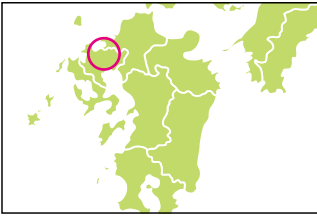


事業主体：佐賀県

再生課題：湿原の再生



事務局：佐賀県有明海再生・自然環境課
対象地域：佐賀県唐津市
（佐賀県唐津市七山池原字榎原に位置し、佐賀県自然環境保全地域特別地区に指定されている8haの範囲。）
設立日：H16.7.4
全体構想作成日：H17.1.26
実施計画作成日：H17.3.31

榎原湿原地区自然再生協議会

再生目標

昭和中期頃の湿地植生を再生し、人為活動との適切な関係の再構築を目指す。



榎原湿原は面積約120haの湿地で、貴重な湿生植物、昆虫などの宝庫であり、継続的な人為的管理により自然遷移が抑制されてきました。しかし、野焼きやオオミズゴケの除去等の管理行為の中断、ヨシやマコモ他の特定植物の繁茂、周辺域からの土砂の流入、周辺森林の成長に伴う被陰等により、湿地植生の劣化が進行しています。

このため、野焼きの再開・継続のほか悪化している湿地環境を良好な状態へと再生する取り組みを進めています。

自然再生の手法

- ▶ 野焼きの実施
- ▶ オオミズゴケ他の特定植物の除去
- ▶ 劣化した植生の除去
- ▶ 土砂堆積部の浚渫
- ▶ 湿地周辺林の伐採と除伐



ハッチョウトンボ



オオミズゴケ堆積による植生の劣化



土砂堆積部分の浚渫



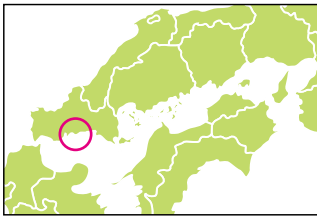
再生事業後に再生した多様な植生



地域住民による保全の取り組み

事業主体：山口県

再生課題：干潟等の再生



事務局：山口県自然保護課、山口市環境政策課 他
対象地域：山口県山口市
（周防灘の山口湾に流入する榎野川河口干潟等）
設立日：H16.8.1
全体構想作成日：H17.3.31
実施計画作成日：検討中
(R2.2 現在)

榎野川河口域・干潟自然再生協議会

再生目標

人が適度な働きかけを継続することで、自然からのあらゆる恵みを持続的に享受できる場、「里海」の再生を目指す。



榎野川河口域から山口湾においては、344haの広大な干潟が広がり、クツラヘラサギなどの様々な鳥類の餌場・休息場、カブトガニの生息場になっており、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」にも選ばれている全国的にも重要な地域です。

しかし、浮泥の流入、カキ殻の堆積、干潟の硬質化・無機質化、アマモ場の激減、アサリの壊滅など、干潟生態系の改変・改質が生じています。

このため、榎野川河口域・干潟の自然環境を再生し、維持していくための取り組みを進めています。

自然再生の手法

- ▶ カキ殻の粉碎などによる底質環境の改善
- ▶ 科学的な分析・評価による干潟への働きかけ
- ▶ 再生活動が持続される体制づくり



カブトガニ (幼生)

干潟等での活動



干潟耕耘作業



アサリ再生活動



海岸清掃



生き物観察会



潮干狩り体験

関連ホームページ

山口県ホームページ：<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15600/ryuuiki/fushino/home.html>